

令和元年度「子ども大学さやま」第4回目講義

12月7日（土）子ども大学さやま第4回目講義が行なわれました。

子ども大学とは…。

大学のキャンパスなどで小学校では学べないことを大学の先生などの専門家がわかりやすく教えるものです。内容は、

ものごとの原理やしぐみを追求する「はてな学」

地域を知り、郷土を愛する心を育てる「ふるさと学」

自分を見つめ人生や将来について考える「生き方学」

と3分野の講義を基本に行なわれるものです。

第4回目の講義は、狭山市オリンピック準備室・狭山市ゴルフ協会、武蔵丘ゴルフコースによる、「ゴルフをやってみよう！～2020年東京オリンピック・パラリンピックにむけて～」【ふるさと学】でした。

狭山市が2020年東京オリンピックでゴルフの会場となっていることから、今回の子ども大学はゴルフに親しんでもらう講座です。特別講座として今回のみ参加の小学生も含めた40人が、実際のゴルフ場で体験を行いました。クラブハウスでゴルフコースの支配人の方から活躍している日本人のプロゴルフプレーヤーについてなどのお話をうかがった後、練習場で2グループに分かれた子ども達はショット体験とパター体験を行いました。狭山市ゴルフ協会の方々の丁寧なご指導のもと、実際にボールを打ってみます。ショット体験では、最初は空振りしていた子ども、何度かクラブを振るうちに良い音をたててボールが高くあがるようになっていきます。広い練習場でボールを遠くに飛ばすのが楽しかったようです。パター体験では、小さなカップにボールを入れるためのコントロールと力の入れ加減に苦労していましたが、徐々に力を抜く大切さや傾斜などグリーンの特徴に合わせた打ち方など、コツをつかんで上手にカップにボールを入れていました。初めてゴルフ場にきたという小学生が多かったですが、その広さと芝の美しさも印象に残ったようです。雪も心配されたこの冬一番の厳しい寒さの中でしたが、大学生スタッフのサポートも受けてクラブを振る子ども達は途中で上着を脱ぐ子もいる程、熱っぽく夢中で楽しんでいました。ゴルフの難しさと楽しさを実感できたことで、オリンピックに向けた日本人ゴルフプレーヤーの活躍を今まで以上に応援したいという気持ちをもった小学生も多かったようです。ご協力いただきました武蔵丘ゴルフコースの皆様、狭山市ゴルフ協会の皆様、ありがとうございました。

